

国際競争力強化のための 広域幹線道路網の整備推進



平成 29 年 7 月

愛 知 県
名 古 屋 市
名 古 屋 港 管 理 組 合
名 古 屋 商 工 会 議 所
一 般 社 団 法 人 中 部 經 濟 連 合 会
中 部 国 際 空 港 株 式 会 社

国際競争力強化のための広域幹線道路網の整備推進

当地域は、日本一の産業集積を誇る世界でも有数な産業圏域として、日本経済の中心的な存在です。今後とも、当地域が諸外国との厳しい国際競争に打ち勝ち、日本経済を支える大きな核として発展していくためには、陸海空の総合的な社会基盤の拡充により、さらに効率的で低コストな物流ネットワークの構築が必要であり、その整備には一刻の猶予もありません。

貿易黒字額が約6兆円と19年連続日本一を記録した**名古屋港**においては、コンテナ、完成自動車、ばら積み貨物など幅広い貨物を取り扱う総合的な港湾として「国際産業戦略港湾」の実現に向け、更なる港湾機能の強化が急務であります。

また、国際拠点空港である**中部国際空港**においては、世界有数の産業圏域である当地域が海外との直結性を高めていくために、二本目滑走路をはじめとする機能強化（完全24時間化）を図るとともに、2027年度に開業予定の**リニア中央新幹線**のインパクトを活かし、空港・リニアの相乗効果を最大限に發揮するように、交通機能の強化が急務であります。

「モノづくり」の元気を支えていくためには、物流・交流拠点と産業集積地、生産拠点の連携をより一層強化し、物流の効率化・高度化、輸送コストの縮減を図る必要があります。この地域の持つ高いポテンシャルを十分に生かすためにも、国際競争力の強化に繋がる広域幹線道路網の整備が極めて重要であります。

さらに、南海トラフ巨大地震など大規模災害から国民の生命、財産を保護し、国民の生活及び経済に及ぼす影響を最小化するため、国土強靭化基本計画で定められた「代替性確保のための道路ネットワークの整備」を速やかに実施していく必要があります。

当地域が今後も日本の経済を牽引する役割を十分に果たしていくため、次の事項について提言申し上げます。

【提言事項】

- **名古屋環状2号線**は、国際物流・交流拠点の名古屋港への重要なアクセス道路であり、西南部・南部区間の完成に伴って名古屋都市圏の環状道路としての機能が最大限に発揮されることから、**開通見通しを示すとともに早期開通に向けて整備を加速すること。**
- **名豊道路**は、完成自動車の国際ハブ港である三河港と輸送機器等の生産拠点を結ぶ本県の重要な東西軸であることから、**早期全線開通と4車線化に向けて整備を加速すること。**
- **西知多道路**は、国際拠点空港の中核国際空港と高速自動車国道とを直結する道路であることから、国が責任を持つべき道路として、**未事業化区間の早期事業化を図るとともに、事業中区間の早期整備を推進すること。**
- **三遠南信自動車道**は、県境を越えた広域連携の軸となって広域幹線道路ネットワークを形成することから、**早期整備を図ること**。また、**浜松三ヶ日・豊橋道路**は、三遠南信自動車道と一体となって広域幹線道路ネットワークの効果をさらに高める重要な道路であることから、**計画の早期実現に向け、国が行っている直轄調査を加速すること**。
- **名岐道路**は、リニア・インパクトを広く中部圏全域に波及させるとともに、名古屋と岐阜との間の交流・連携強化に資する重要な道路であることから、**計画の早期実現に向け、国が着手した直轄調査を加速すること**。また、**国道41号名濃バイパスなど、名古屋都市圏における道路ネットワークの早期整備を推進すること**。
- 「**道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律**」の補助率等の嵩上げ措置については平成30年度以降も継続すること。
- 地方が真に必要とする道路整備が計画的に進められるよう、平成30年度道路関係予算を確保すること。

平成29年7月

愛 知 県 知 事	大 村 秀 章
名 古 屋 市 長	河 村 たかし
名古屋港管理組合管理者	大 村 秀 章
名 古 屋 商 工 会 議 所 会 頭	山 本 亜 士
一般社団法人中部経済連合会会长	豊 田 鐵 郎
中部国際空港株式会社代表取締役社長	友 添 雅 直

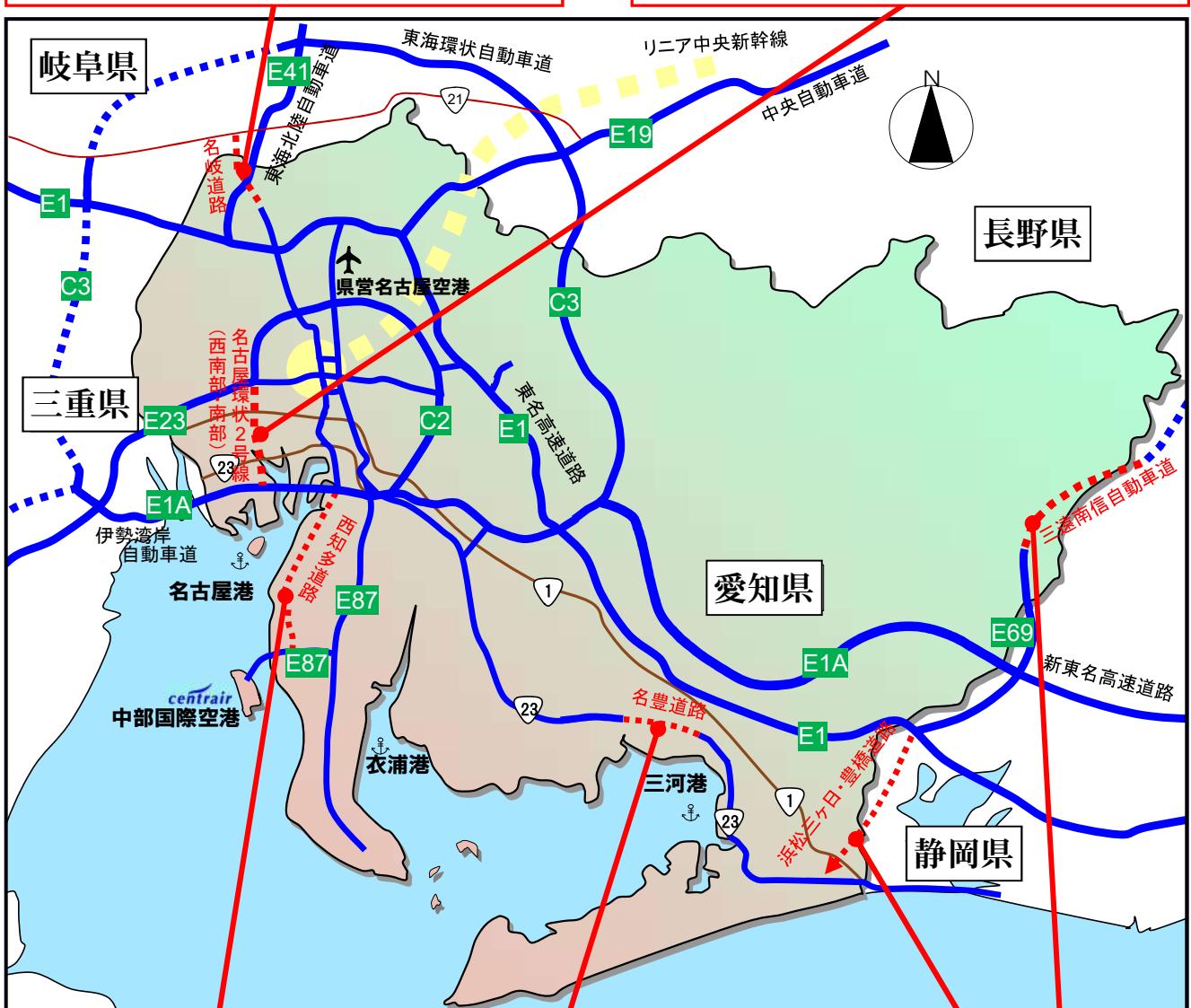
愛知県広域幹線道路網図

【名岐道路】

- 名古屋と岐阜の交流・連携強化
- リニアインパクトを中部圏全域に波及

【名古屋環状2号線(西南部・南部)】

- 三大都市圏の環状道路
- 名古屋港と背後の生産拠点を直結
- ・平成25年度 着工



【西知多道路】

- 国際拠点空港と高速自動車国道を直結
- ・平成28年 4月 一部区間新規事業化

【名豊道路】

- 重要港湾と産業集積地を直結
- 国道1号の渋滞緩和
- ・全延長の内 約87%開通済
- (未開通区間: 蒲郡BP東部区間約9.1km)

【三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路】

- 県境を越えた広域連携の軸となり広域幹線道路ネットワークを形成

愛知県広域幹線道路網図



国際競争力強化のための 広域幹線道路網の整備 ～ストック効果～



2017.4.1 北米へのフェリーフライト成功(4機目)

世界初の燃料電池自動車

平成29年7月
愛知県市議会
名古屋管工部連合会
名古屋商中部経済組合
一般社団法人中空港株式会社

国際競争力強化のための広域幹線道路網の整備推進

名古屋環状2号線

航空宇宙産業の世界三大拠点を目指して! 生産性革命を引き起こします!

▶未開通区間の開通は、航空部材の物流コスト面で生産性向上を支援

岐阜工場 → 岐阜工場 ⇄ 名古屋第一工場
現状一般道利用 120分 → 開通後名古屋環状2号線利用 65分
輸送時間45%削減!

開通への期待の声
名古屋環状2号線（専用部）の開通で、国道302号を始め地域全体の渋滞緩和により、輸送時間の短縮が見込まれる。

工場間の人の移動も多く、有料区間（専用部）の利用により、時間短縮のメリットも考えられる。
(川崎重工業(株)ヒアリング (2016.10) より)

自動車産業の国際競争力強化へ!

1日も早い整備を!

▶未開通区間の開通により、名古屋港への海外生産用部品やコンテナ貨物の輸送が効率化

Tグループ 海外生産用の部品を名古屋港から輸出
M社 1日あたり 80~100便のコンテナ等を名古屋港へ輸送
西三河地域→名古屋港は伊勢湾岸自動車道により輸送効率化が実現
Tグループ海外生産用部品 26カ国へ260万トン/年 輸出

未開通区間の開通で…
名古屋西JCT ⇄ 名古屋港の所要時間が35分→15分に減少

■コンテナ貨物の輸送状況
<M社のコンテナ輸送>
名古屋西JCT ⇄ 名古屋港の所要時間短縮により、回旋可能数が2往復→3往復に増加

名豊道路

日本の自動車貿易を支えるメインロードの完成へ!

▶未開通区間の開通により、三河港への完成車・部品輸送が効率化

未開通区間の開通で… 1日も早い整備を!
大府市の車両組立工場から三河港への輸送回数が1往復→2往復に増加

名豊道路（完成車の輸送）
三河港（国外積出拠点）
北米へ80万台/年輸出
完成車400便/日 部品600便/日

西知多道路

輸送モード間の接続強化!
リニアインパクトを空港から世界へ!

事業推進を!
未事業化区間は国で整備を!

▶高速道路と直結／リニア名古屋駅と中部国際空港の連携強化
▶ダブルネットワーク形成による定時性・利便性向上

リニア名古屋駅と中部国際空港をつなぐ
新東名高速道路と直結
知多半島道路と一体となってダブルネットワークを形成

現道の混雑状況
将来交通の混雑度の比較 (I-42)
西知多道路 整備なし: 1.77
西知多道路 整備あり: 0.94